

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 7年 3月26日

事業所名 そよかぜ飯田教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・子どもの特性に合わせてスペースを広げたり、パーティションで仕切ったりして配慮している。 ・支援前に支援の流れ(動き)を共通理解し活動スペースを有効に使えるようにしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・必要に応じて、配置数を変えている。 ・一日の定員数を踏まえて配置されている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・施設内はバリアフリーになっている。 ・危険が無いように配慮している。 ・掲示等で視覚的にも情報を得られるようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日、清掃をしている。必要に応じて、支援終了後消毒をしている。 ・年に2回業者による清掃を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・活動内容によって、落ち着いた環境作りをしたり支援室以外の部屋を使ったりしている。 ・子どもの状態に合わせて部屋を分けて活動したりパーティションで区切る等の配慮をしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・目標設定と振り返りを交互に行い、改善すべき所は改善している。 ・グループ支援等、計画だけで終わることなく全員で実践したことを評価し合い、改善して次の支援につなげるようにしている。	
	7 保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年に1回アンケートを行っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・支援内容や施設環境などについて気付いたことは職員間で共有し改善できるようにしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・第三者委員は設置している。 ・外部評価はしていない。	・外部評価については定期的に行うか今後検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・法人内では定期的に外部から講師を招いて研修を行ったり他施設に見学に行ったりしている。 ・外部の各種研修会に参加している。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・町のホームページで公表されている。		
適切な支援の提供	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・アセスメントをもとに保護者と話し合い、支援の方向性を共通理解している。 ・個別支援計画を作成する前に、保護者と達成した所やこれからの課題について話し合った上で作成している。 ・3ヶ月ごとにアセスメントを行い課題を共通理解した上で計画を立てている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・担当支援者と自発管とが、こどもの発達や課題についてやり取りを重ね、共通理解して作成している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・個別支援計画に添った支援を行っている。 ・事前にどのような課題に対してどのような支援を行うか共通理解して支援に当たっている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・発達検査などの検査結果やアセスメントから子どもの発達や適応行動の状況を読み取ることに努めている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・支援計画の作成時は、ガイドラインに添って計画を作成している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・他職員と連携して行っている。 ・職員間で話し合っ計画を立て、昨年度や前月の反省を生かして計画を立てている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・ベースとなるプランは決めているが、こどもの特性に合わせて活動内容になるように、変更するなど工夫している。 ・グループ支援は月ごとの内容にしその中では年齢によって内容を変えている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個の発達に応じて、個別とグループ活動の回数を考慮し、それらを組み合わせた支援を行っている。 ・意見を出し合い、新しい遊びやリズム等を取り入れて行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝のミーティングにて、その日の支援について確認、共有し支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・全員揃って話し合えない時もあるが、情報は共有している。 ・支援後に振り返りをして良かった点や反省点を伝えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・支援終了後に必ず記録をとり、次の支援に活かせるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・支援計画作成前に必ずモニタリングを行っている。 ・モニタリング時に保護者の評価を確認し、見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・担当者会議には相談支援員、担当支援者、室長、保護者が参加している。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・健診に室長が参加したり、医療機関に担当者が見学に行ったりするなどして連携している。 ・訪問、連携ファイルを通して、連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・こどもの年齢や発達に合わせた移行支援を計画し、実行している。 ・こども園等とは園訪問や連携ファイル、指導方法研究会等で支援内容の共有をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・指導方法研究会や引き継ぎ会、引き継ぎ書等で就学先の小学校と連携をとっている。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	・近隣の専門機関と連携を取り、必要な助言をいただいている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	・支援の中で、住居は同じ地域だが別の園に通っている子どもが交流できている。	・通所児のほとんどがこども園等に通っているため、改めて交流の機会を設けていないが、必要に応じて検討していく。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・支援の送迎時に家庭、園、教室での子どもの様子を伝え合い、課題や成長を共通理解できるようにしている。	
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・指導方法研究会に対象児の家族に参加していただいたり、支援見学月間を作ったりして家族参加の機会を設けたりしている。 ・保護者対象の相談会や研修会を開催している。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・支援開始時に室長より説明をしている。	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・モニタリングや普段の支援後等に、保護者のニーズを聞いたり、子どもの様子を伝え合ったりして情報共有している。	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・具体的な内容を伝えている。 ・保護者に同席してもらい、支援計画を伝え、同意を得ている。	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・保護者とのコミュニケーションを大切にし、相談があったら助言を行うようにしている。 ・定期的なモニタリングだけでなく、必要な時に面談や支援をしている。 ・日々の支援後に相談を受け、担当だけで対応せず室長に上げ助言を求めている。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・保護者同士またはきょうだい同士が交流できる機会が持てるよう検討していく。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・相談があれば、いつでも迅速に対応できるようにしている。 ・相談室を設置し、個別に対応できるようにしている。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・年3回のそよかぜ通信を発行したり、必要な情報は掲示したりして、保護者に周知している。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・鍵のかかったロッカーで、管理している。 ・施設外に個人情報が記された物を持ち出すことは無い。	

	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・それぞれの保護者の思いを尊重し、伝達の仕方 も配慮している。 ・視覚で分かりやすしたり、具体的に伝えている。 ・外国籍の方への書類は必要に応じてひらがなで作成するようにしている。	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・見学の依頼は随時受けている。	・地域住民を招いた行事は難しいが、教室を知っていただく機会があるときは積極的に情報発信していく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等とともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・職員は定期的に訓練を実施し、家族等にドキュメントにて周知している。 ・マニュアルは職員だけでなく、保護者の方にも周知している。 ・施設内の保護者も見える位置に掲示することで、周知に繋げてる。	
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・火災、地震、水害など必要な訓練を実施している。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	通所開始前に、確認している。	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・保護者に確認後、アレルギーがある子は表作成をして情報を全職員で共有している。 ・おやつは個人用のタッパー容器に入れている。 できる限り担当支援者がおやつを準備するようにしている。	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画に基づいて研修や訓練を定期的に行っている。	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・子どもや保護者に周知しやすいようにポスターを貼り、声かけしながら意識付けしている。	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハットがあった時には、全員で把握し改善している。書面にも残している。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待防止研修等に積極的に参加し、支援に活かしている。 ・虐待防止マニュアルで自身の行動の振り返りを行っている。職員同士で個々の支援を見合っている。	
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・身体拘束は行っていない。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。